

生 アクアマリンふくしま移動水族館
きた海洋生物と触れ合う



▲ 生きた海洋生物に触れる只見小学校の児童

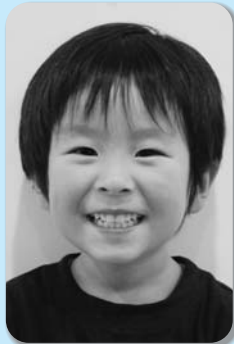
東日本大震災で被災したアクアマリンふくしまで只見高等学校の生徒がボランティア活動を行なったことがきっかけで、10月17日、同校に移動水族館「アクアラバン」が来校し、生徒がタッチ水槽でカニやヒトデなどの生物と触れ合いました。18日には明和小学校と朝日小学校、19日には只見小学校へ移動し、各小学校の児童も生きた海の生物と触れ合いながら命の尊さを楽しく学んでいました。



ふなぎ とあ
船木 翔空くん
(黒谷)



おおつか さくら
大東 咲来さん
(梁取)



わたなべ しゅう
渡部 柁くん
(福井)



さとう ゆうき
佐藤 優妃さん
(福井)

虫歯の
ない子



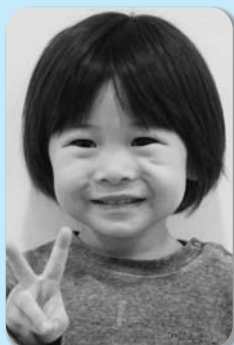
10月26日
3歳児健診



はせべ ゆうか
長谷部 優歌さん
(蒲生)



ばば ひなた
馬場 日向くん
(塩ノ岐)



わたなべ あおね
渡邊 碧音さん
(福井)



いからし ゆうや
五十嵐 悠陽くん
(只見)



つのだ はる
角田 春さん
(坂田)

震 心の健康講演会 災・水害からの復興と心のケアを

11月1日に只見小学校体育館で心の健康講演会が行われました。講師は、福島県立医科大学看護学部総合科学部門長の志賀令明氏で、地域で支えあうところ「世代を超えた理解と絆」と題し講演されました。志賀氏は、震災や水害で大変な時期、みんなで助け合い、共通の仕事や作業を行うことで絆を深めていくことが大切と話され、参加者も今の気持ちを言葉にし、アドバイスを受けていました。



▲ 絆の大切さを実感した参加者

放 地域課題解決アドバイザー派遣事業 放射能汚染について講演



▲ 放射能の現状と対処法などを話す野口邦和氏

10月28日に朝日地区センターで、日本大学専任講師の野口邦和氏を講師に迎え、放射能汚染にどう立ち向かうかと題し講演会が行われ、約50名が参加しました。超学際的研究機構のアドバイザー派遣事業の一環。野口氏は放射線防護学を研究されていて、原発事故で放出した放射能物質の種類や特性などを分かりやすく説明され、参加者からは只見町での除染の必要性などについて質問がありました。

吉 会津五街道ウォーキング 尾峠を越えて

秋晴れの10月23日に、布沢地区から昭和村に続く吉尾峠でウォーキングが行われ、73名が参加しました。登り口を出発した参加者は、途中、鎌倉沢のブナ林や吉尾集落跡などを散策、峠頂上の紅葉を満喫したあと、からむし織りの里で開かれた「昭和村秋味まつり」を見学。昭和村の新そばなどを味わいました。また、まつり会場では参加者全員による「会津から元気を！」の交流宣言も行われました。



▲ 会津五街道ウォーキング実行委員会などが主催

遊 あそびの教室 びから子どもの発達を伸ばそう



▲ 子どもと一緒に運動をするお母さん

子どもの発達を促す遊びを楽しく学ぶ「あそびの教室」が9月26日に保健福祉センターで開かれ、保育所入所前の幼児とお母さんなど26名が参加。鳴き声を聞いて動物の名前を当てる遊びや、子どもを抱いての運動を音楽に合わせて行いました。参加されたお母さんからは「楽しく子どもと触れ合えて良かった。子どもも喜んでいたので、今後も積極的に参加したい」と笑顔で感想が聞かれました。